

平成30年度 前期学校評価

伊予市立佐礼谷小学校 平成30年9月

【アンケート結果】 4：大変よい 3：よい 2：やや改善を要する 1：改善を要する  
 【評価基準】 A：肯定率90% B：肯定率80%以上 C：肯定率60%以上 D：肯定率60%未満  
 【目標値評価】 A：全体肯定率90%以上 B：全体肯定率80%以上 C：全体肯定率60%以上 D：全体肯定率60%未満

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	前期・後期	目標値評価	学校による考察・改善	評価資料	評価基準	肯定率	アンケート結果(%)			
									4	3	2	1
教育課程・学習指導	確かな学力の定着と向上	複式及び個に応じた指導法の工夫と改善を行い、基礎・基本の確実な定着に努めているか 目標値：教職員の80%以上が肯定(3・4)	前期	D	今年度、児童の「読解力」「表現力」といった点に力を入れていこうという研修の方向が示された。その指導・支援に時間をとり、やや計算や漢字の書き取り、基本的な技能や語彙の習得に時間が取れていないという反省があった。2学期以降も、引き続き「読解力」「表現力」に力を入れるが、その土台となる基礎、基本的な内容に、もう少し時間を割り振っていこうという研修計画の見直しを行った。	児童 保護者 教職員① 地域住民	D	50	0	50	50	0
			後期			児童 保護者 教職員① 地域住民						
		体験的・問題解決的な学習を充実させ、自ら考え、判断し、主体的に実践する態度を育てているか 目標値：保護者、教職員の80%以上が肯定(3・4)	前期	B	体験的、問題解決的な学習の時間は、比較的確保できていると考える。しかし、児童が主体的に考え、行動する場となり得ていない面が見られる。教師の指示や発問の仕方、児童が試行錯誤する時間の確保を考えていきたい。	児童 保護者① 教職員② 地域住民	B	87	40	47	13	0
			後期			児童 保護者① 教職員② 地域住民						
		指導過程、指導法の工夫を図り、豊かに表現する力を育てているか 目標値：保護者、教職員の80%以上が肯定(3・4)	前期	A	発表や作文といった時間を意図的に設けている。口頭で自分の考えを積極的に表現する力は全体的に高いと考える。今後は、相手に伝わるような表現や文章での表現といった点を中心に指導していきたい。	児童⑫ 保護者② 教職員③ 地域住民	A	93	80	13	7	0
			後期			児童⑫ 保護者② 教職員③ 地域住民						
	家庭学習の習慣が身に付いているか 目標値：児童、保護者、教職員の80%以上が肯定(3・4)	前期	B	全体的には、しっかり家庭学習ができています。今後は、学年の発達段階を考慮しながら、自主学習の内容についての指導に力を入れていきたい。	児童① 保護者③ 教職員④ 地域住民	A	100	87	13	0	0	
		後期			児童① 保護者③ 教職員④ 地域住民							
	道徳教育の充実	自他の生命を尊ぶ、優しい心を育てているか 目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	前期	B	縦割りや豊かな自然と触れ合う活動の充実、また、保護者や地域の方々の協力のおかげで、素直で優しい児童が育っていると感じている。今後も、この本校区ならではの環境を大切にしていきたい。	児童⑧ 保護者④ 教職員⑤ 地域住民①	A	93	80	13	7	0
			後期			児童⑧ 保護者④ 教職員⑤ 地域住民①						
		人とふれあい、思いやりの心・感謝の心を持ち、自ら実践する態度を育てているか 目標値：保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	前期	C	内面では思いやりや感謝の心は十分育っているように思われる。ただ、場や状況、相手に合った言葉遣いができていない。これは、昨年からの課題であったが、未だに十分ではない。児童もその点は課題として認識しているので、今後も学校・家庭・地域が共通認識のもと、継続的に指導していきたい。	児童⑨ 保護者⑤ 教職員⑥ 地域住民②	C	73	60	13	27	0
			後期			児童⑨ 保護者⑤ 教職員⑥ 地域住民②						
学校は、各学年の発達段階を考えながら、人権・同和教育を適切に行っているか。 目標値：保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)		前期	A	昨年度より「ふるさとに生きる」を柱に人権・同和教育を行ってきた。活動や学習が保護者や地域に見えにくい面があるので、情報発信の仕方をもっと工夫していきたい。	児童 保護者⑨ 教職員⑦ 地域住民④	B	87	33	54	13	0	
		後期			児童 保護者⑨ 教職員⑦ 地域住民④							
読書活動を通して、豊かな感性や創造力を育てているか 目標値：児童、保護者、教職員の80%以上が肯定(3・4)		前期	B	みきゃん通帳や貸し出しカードを家に持ち帰ることで、家庭でも読書の様子を把握しやすくなったという声がかかれた。評価も上がっている。今後も、読書の時間を確保したり読書への関心を高める啓発活動を行ったりして、読書活動の充実を図りたい。	児童⑩ 保護者⑥ 教職員⑧ 地域住民	B	87	74	13	13	0	
		後期			児童⑩ 保護者⑥ 教職員⑧ 地域住民							
学校関係者評価委員の所見		・先生方は辛めに評価しているようにも思うが、新学習指導要領の全面実施に向け、研修に励むとともに、授業改善に力を入れて欲しい。 ・みきゃん通帳等を定期的に持ち帰ることで、普段の読書の様子が分かりやすくなった。 ・言葉遣いの乱れが気になる。高学年がお手本となり、場や状況に合った言葉遣いや行動をとれるようにする必要があるように思う。				学校の対応	・読解や表現の指導に偏り、基礎学力への指導が十分ではなかった。小規模の特徴を生かし、個々の児童の実態に即した学習指導を行いたい。 ・家庭学習、言葉遣いは習慣化する必要がある。今後も継続して指導を行う。学校、家庭、学童、わんぱく塾が共同で今後も指導していく。					

生徒指導	生徒指導の徹底	挨拶運動、清掃活動を中心に、基本的な生活習慣の形成が図れているか	前期	A	小人数ながら、一人一人よく掃除を頑張っている。挨拶は大きな声でできる児童と、あまりできない児童と分かれているのが現状である。今後も継続的に指導していきたい。	児童②あい	A	93	80	13	7	0
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	後期			児童③清掃	A	93	80	13	7	0
		いじめ、不登校問題への積極的な対応ができてきているか	前期	A	評価としてはAであるが、いじめや不登校といった問題は、見えない部分で進行していることが多く、気付いた時には大変な事態になっている傾向があるので、今後も、家庭・地域と連携しながら、未然防止、早期発見、早期解決に努力していきたい。	保護者⑦	A	100	60	40	0	0
			後期			教職員⑨	A	100	40	60	0	0
学校関係者評価委員の所見	・挨拶はできているように思うが、している子としていない子がはっきりしている。また、学校内ではよくできているので、それを学校外でもがんばるようにして欲しい。				学校の対応	・挨拶に関しては、今後も機会ある毎に粘り強く指導する。登校中や家庭でしっかり挨拶できるよう、ハッピー通帳を有効的に活用し指導する。 ・いじめや不登校問題は、見えにくい問題でもあるので、今後も、保護者や地域からも情報を収集し、いじめや不登校問題が起こりにくい環境づくり、早期発見、早期解決に努めたい。						
保健管理	健康教育の推進	早ね、早起き、朝ごはんの習慣は定着しているか	前期	A	評価はAではあるが、高学年を中心に就寝時間が遅くなっている傾向がある。保健や家庭科学習と関連付けながら生活の見直しを行ったりや睡眠の大切さについて指導したりしていきたい。	児童④寝起	B	80	67	13	13	7
		目標値：児童、保護者の80%以上が肯定(3・4)	後期			児童⑤ご飯	A	93	86	7	7	0
		個に応じた体力づくりはできているか 体幹等も鍛え、正しい姿勢が維持できるか	前期	A	姿勢が乱れがちな児童が見られるため、児童の質問に項目を増やした。結果、児童の評価はBである。「気がつけができない」「姿勢が維持できない」「猫背になる」などは体幹が弱いこともあるので、体育等で体幹を鍛える運動等を少しずつ取り入れていきたいと考えている。	保護者⑩	A	100	40	60	0	0
			後期			教職員						
学校関係者評価委員の所見	・体力づくりはよくがんばっている。 ・姿勢の乱れは感じる。				学校の対応	・姿勢の乱れは、体幹だけの問題ではないところもある。健康のためにも、今後も指導に力を入れていきたい。						
保護者・地域との連携	地域に根ざした特色ある学校づくり	地域の人材や教育資源を生かした体験的な学習を推進しているか	前期	A	学校からというより、地域や保護者の方が率先して働きかけてくださっている。本当にありがたいと感じている。今後も連携を図りながら取り組んでいきたい。	児童⑬	A	100	87	13	0	0
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	後期			保護者⑫	A	100	80	20	0	0
		児童の活動の充実をめざし、公民館、老人クラブ、住民自治組織されだにとの連携に努めているか	前期	A	佐礼谷全体が一丸となって子どもたちを育てようという雰囲気を感じている。このすばらしい伝統を学校もしっかり受け止め引き継いでいきたいと考える。	教職員⑬	A	100	80	20	0	0
			後期			地域住民⑤	A	100	71	29	0	0
学校関係者評価委員の所見	・よく頑張っているのではないか。				学校の対応	・本校の特色は、家庭や地域との充実した連携による学校づくりである。今後も、家庭や地域と連絡を密にしながら、心身共に健やかな佐礼谷っ子の育成に努めたい。						

研修	教職員の資質と指導力の向上	計画に沿って研究授業を行い、授業改善に積極的に取り組んでいるか	前期	D	残念ながら、D評価である。今年度より始まった道徳科や2年後の新学習指導要領を踏まえた授業に対し、試行錯誤している面が評価に表れた。D評価の原因をしっかりと検証し、研修計画を見直しながら授業改善を図っていききたい。	児童														
		目標値：教職員の80%以上が肯定(3・4)	後期				児童													
	教職員のコミュニケーション能力は高まっているか	前期	A	高評価となっている。小規模校にとって、学校・家庭・地域との連携は重要であり、コミュニケーション力は必要不可欠である。学校・家庭・地域の情報交換を活発に行いたい。また、その情報の共有化にも努めたい。	児童															
		目標値：保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	後期				保護者⑭	A	100	53	47	0	0	教職員⑮	B	80	0	80	20	0
学校関係者評価委員の所見							<p>・新学習指導要領への完全実施に向け、研修が思うように進んでいないところがある。教職員個々が感じている課題を出し合い、共通理解のもと、協力しながら個々、または学校全体の指導力向上を目指したい。</p>													
							<p>学校の対応</p>													
安全管理・施設管理	安全安心でうるおいのある学校づくり	安全確保のための見守り活動は充実しているか	前期	A	今年度は、保護者とともに通学路の安全点検を行い、安全マップの見直しに取り組んだ。今後も、家庭や地域の方々の協力を得ながら見守り活動の充実を図っていきたいと考える。	児童⑦	A	100	93	7	0	0	保護者⑮	A	100	60	40	0	0	
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	後期				児童⑦							保護者⑮						
	落ち着きと元気が出る、教室環境、校内掲示、屋外環境の整備が進んでいるか	前期	A	今年度も、春と夏の環境整備に、保護者、地域の方が大変多く参加していただき、きれいで安全な環境の中、児童は学習に取り組んでいる。その御協力に甘えず、学校もより充実した環境整備に努力していききたい。	児童									保護者⑯	A	100	53	47	0	0
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の80%以上が肯定(3・4)	後期				児童							保護者⑯						
学校関係者評価委員の所見							<p>・今年は、保護者とともに安全マップ作りを行ったり、広報区長さんと相談しカーブミラーを設置したり、新しい試みも行った。今後も、現状に甘えることなく、児童が安心して学び生活できる環境づくりに努めたい。</p>													
							<p>学校の対応</p>													